

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第10回 理事会議事録

日 時：2015年 10月 27日（火）19：00～22：00

場 所：コンセーレ 小ホール

出席者：

- (理 事 長) :
(直 前 理 事 長) :
(副 理 事 長) : 澤畑 (敬称省略以下同)、福田(之)、太城、中島
(専 務 理 事) : 金
(監 事) : 安野
(担 当 常 任 理 事) : 羽石、飯野
(日本 JC 委員会特別委員長) :
(会 員 拡 大 特 別 委 員 会) : 小瀧
(法 令 会 計 審 査 局 局 長) : 豊崎
(事 務 局 長) : 飯沼
(委 員 長) : 辻、渋谷、篠原、増淵、宮林、福田(弘)、山田、飯塚
(局 次 長、副 委 員 長) : 間島、金田、柿沼、相田、
中嶋、板林、佐藤、南木、林
(準 理 事 会 構 成 員) : 赤井、加賀田、亀井

1. 開会宣言 <金>(役職名省略 以下同)
2. JCI クリート唱和 <板林>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <中嶋>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <相田>
5. 関東地区宣言唱和 <南木>
6. 出席者の確認 <飯沼>
7. 議事録作人並びに議事録署名人の指名 議事録 <総務委員会>
議事録署名人
澤 畑 敦 史
安 野 嘉 政

8. 前回議事録の確認

<金>

9. 議題並びに資料の確認

<飯沼>

10. 2015年度理事長挨拶

<澤畑>

まずは第10回理事会に出席いただき、ありがとうございます。総務委員会、渉外委員会の皆様、早からの設営ありがとうございます。いよいよ、残り2か月となりました。理事会ということであると、本日を含めて残り3回です。須山理事長の下に結成されたこの理事会構成メンバーで、理事長の描く夢を叶えるため、我々が中心となり進めてきたわけです。スローガンである、真摯に挑戦、自己成長、人材育成と年にしたいという夢をもって、スタートしたわけです。本日理事長は来年度の話となりますが、日本J Cの会務常任という激務に身をおいて、その補佐官として菊地副委員長がお供をして、ほんとうに大変な思いをしています。最近では理事長が公務のためにいらいしゃらないことも多く、私たち正副がまとまってなんとか推し進めていこう、理事長の夢をなんとか実現させようと一生懸命やっているわけですが、どこまでいっても、今年は須山理事長の年であり、我々は須山理事長の描く夢を叶えるためにやっていかなければなりません。そこで今日はもう一度、理事長所信の読み合わせをしたいと思います。

正副メンバーを除いた常任、理事会構成メンバー、準理事会構成メンバーで理事長所信の読み合わせをおこなった。

ありがとうございます。もちろんまだ終わってない例会、事業はありますが、予定者の段階で皆さんにはこの理事長所信を読み込んでもらい、その上で皆さんには理事長の所信に沿った事業、例会の構築に邁進していただいたのではないかと思います。しかしながらなぜ今のこの時期に理事長所信を呼んでもらったのかというと、ほんとうにこの理事長所信に沿った例会、事業は構築できたのかを確認の意味も含めて読んでいただきたかった。理事長の夢をほんとうに達成することができたのかを、振り返ってほしいと思い読んでいただきました。この大きな3本柱、1つ目の真摯に挑戦ですと、この1年間しっかりと真摯に挑戦できたでしょうか。2つ目、自己成長。自己成長しましたか。そして3つ目の人材育成。皆さんの委員会についてきてくれたメンバーをしっかり育成することはできたでしょうか。常任でしたら、委員長、副委員長を成長させることができたでしょうか。そういったことをもう一度考えなおしてほしいです。私自身もこれを読み返して、ああまだまだだな、足りなかったこともあるかなと反省しているのですが、もう残り2か月といえばそれまでですが、まだ2か月あります。その2か月間で、いかにこの理事長所信に沿ったことができるのか。まだチャンスは残っています。できることは全てやって来年を迎えていって欲しいと思います。本日の理事会、最終最後までどうぞよろしく願いいたします。

11. 直前理事長挨拶

村上直前理事長欠席のため割愛

12. 役員報告

<板林> 10月例会の500名の募集締め切りとなったことの御礼

<木村> 菊水祭の参加の御礼、冬渡祭のご案内

<山田> 全国大会関連事業の御礼

<金> ジャガイモゴルフコンペの御礼

13. 審議事項

審-1 第114回通常総会 開催計画並びに予算(案)承認の件
審議資料に基づき、辻委員長より上程文の読み上げ

<木村> 2019年度第68回全国大会主管立候補(案)承認の件は削除して来年は手を挙げるべきではない。本年準備不足で手を下げ、そして涙を飲んだ人間もいる中、そこから何の準備もしていないのに審議事項にこの議案があがってくるのはおかしい。

<辻> 総務委員会としては、総会の設えの準備をしているので審議案件の内容についてお答えはできません。

<飯沼> 補足として、総会議案の中でこの議案の内容について議論するのは適切ではないと思う。議案上程の際においてはその議論は当てはまらない。具体的な内容について皆さんにチェックいただくのは、総会資料確認の時になるのではないかと。総会を開催するための議案として承認を承るべく審議を進めていただきたい。

<木村> 認識不足ですみません。ということは総会を開く、開かないということの審議議案なのですか。中身について意見ができないというのは、理解ができない。

<飯沼> 総会の中身については11月11日の総会資料チェックの時と思います。

<金> この議案は目的をみていただくとわかるように、意思決定をすることを目的としている。賛成するか反対するかという意思を決定するのは総会なので、この場で皆さんの意思をだしていただければよろしいのではないかと思います。今はあくまで総会を開催するかどうかを決めるための議論。その後の臨時理事会で総会資料を確認して内容を確認する場があります。

<宮林> 定款の44条、理事会の職務1項(2)によると、総会の日時および場所並びに議事に付すべき事項の決定とありますので、内容についても意見してもよいと思う。よって木村委員長の見解に賛成します。

<木村> なにもやっていないのにまた手を挙げるのはなぜですか。手をあげるべきではない。

<中島> 準備不足というのであれば、今日から準備すればよい。来年の2月には予備立候補ですし、まだまだ先の話です。理事メンバーであれば、率先して準備するのが理事ではないでしょうか。木村委員長の意見はすごく受け身に感じます。

<木村> 今日から準備すればよい、というレベルのものであれば、やらない方がよいと思います。去年取り下げたことで悔しい思いをしたものもいる中、取り下げた後になにも準備していない。なのに、また手を挙げる意味がわかりません。

<山田> たしかに3月をもって、招致会議は開催されていないし、5月に手を下げたのは事実。ただ全国大会関連事業を今月開催した。だから全く準備をしていなかったわけではない。

<澤畑> ご意見なきようですので決をとりたいと思います。審議事項1番 第114回通常総会開催計画並びに予算(案)承認の件 賛成の方、反対の方、白紙の方、事務局長評決お願いします。

<飯沼> 賛成24票、反対1票、白票1票です。

<澤畑> それでは原案どおり審議可決いたします。

<澤畑> 白票をあげた篠原委員長、なにかありますか。

<篠原> 木村委員長の意見、宮林委員長の意見に納得し、金専務、山田委員長の意見にも納得したが、賛成にいたるまでの材料となるものがなかったため白票とさせていただきます。

審-2 11月 研修例会 開催計画並びに予算(案)承認の件
審議資料に基づき、柿沼副委員長より上程文の読み上げ

<山田> 参考資料9番、委員会役割の部分ですが、護国神社駐車場担当者に全国大会招致委員会メンバー2、とありますがどういうことですか。

<柿沼> 表記の間違いでした。日本JC関係特別委員会の間違いです。訂正いたします。

<山田> 会場駐車場のPDFデータを見て、第2駐車場は近くから停めさせるのだと思いますが、段々と車がいっぱいになると対応が難しくなると思いますので、検討をお願いします。

<柿沼> 委員会メンバーが随時チェックすることで対応いたします。

<澤畑> ポスターの手話通訳付き、とありますが、この表現は正しいのですか。

<柿沼> 様々なポスターの表現を確認し、手話通訳付きという表現がよく使われていたので採用させていただきました。

<渋谷> 講師が遅参された場合、どのような対応を考えていますか。

<柿沼> 講師が遅れている旨のアナウンスをして、理事長の話を長くしていただいて対応したいと思います。

<澤畑> ご意見なきようですので採決にうつります。審議事項2番 11月 研修例会 開催計画並びに予算(案)承認の件
賛成する理事のかた右手挙手をお願いします。反対の方、白紙の方、事務局長評決をお願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<澤畑> 原案どおり審議可決いたします。

<柿沼> これからは突っ走るだけですので、しっかりやりきりたいと思います。

<増淵> 前回の例会でメンバーの席を準備しないというミスを犯しましたが、今回は100席準備いたしました。メンバーへの呼びかけ、ぜひお願い します。

協 - 1 12月 さよなら例会 開催計画並びに予算(案)について
協議資料に基づき、林副委員長より上程文の読み上げ

<山田> 事業目的の部分で、何に対する意識を高めるのでしょうか。

<林> 再考して追記いたします。

<相田> 駐車場のレイアウトなどはどのようになっていますか。

- <林> ホテルからまだ具体的な場所を提示されていないので、次回までに準備します。
- <板林> 会場レイアウトですが、円卓となっていますが、みにくい方もでてくると思うので、何か工夫された方がよいと思います。
- <篠原> 来訪者の人数把握が難しいと思うので、何か工夫された方がよいと思います。
- <相田> 当日の受付レイアウト、12月ということでコートを着用される方も多と思うので、資料にレイアウトを添付された方がよいと思います。
- <赤井> タイムスケジュールをみるとセレモニー後から喫煙ができるということですが、非喫煙者にたいしての対応という意味ではどうなのでしょう。
- <林> 例年出入りが多いので、それを防ぐという意味で、会場内での喫煙を可能にしました。非喫煙者には申し訳ないですが我慢していただくことになります。
- <木村> 卒業生スピーチの一人あたりの時間が6分ということですが、花束を渡すのも含めて6分ですか。
- <林> スピーチが3分、花束、写真撮影に3分で配分しています。
- <木村> 例年時間がオーバーしているので、他の部分で時間を削るなどした方がよいと思います。
- <篠原> プレジデンシャルリースの介添人ですが、去年は副理事長が5人だと思いましたが、今年の人数の配分はこれでよろしいのでしょうか。
- <林> 介添人の資格として、理事長有資格者のみということなので、その中での人数配分となっています。

協-2 2015年度 新入会員認証（案）について
協議資料に基づき佐藤副委員長よりの上程文の読み上げ

- <佐藤> ご意見なきようでありましたら2015年度 新入会員認証（案）について審議格上げの同義をお願いいたします。
- <金> ただいま、佐藤副委員長から、審議格上げの動議がありました。セコンドされる理事の方、右手挙手をお願いいたします。山田委員長、飯野常任をお願いします。それでは審議格上げの決をとりたいと思います。賛成の方、反対の方、白紙の方。事務局長お願いしま

す。

<飯沼> 全会一致です。

<金> 全会一致を持ちまして、本案件を審議事項5番に入れさせていただきます。

審-3 2015年度 新入会員認証(案)について
審議資料に基づき佐藤副委員長より上程文の読み上げ

<澤畑> ご意見なきようなので審議のほうに移りたいと思いますがいかがでしょうか。
それでは決をとります。審議事項3番、新入会員認証(案)について承認の件賛成される
理事の方右手挙手をお願いいたします。反対の方、白紙の方。事務局長お願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<澤畑> 全会一致を持ちまして、審議可決とさせていただきます。

15. 報告依頼事項

報-1 2015年度 年間公式スケジュールについて

<金> ご一読ください。

報-2 2015年度 対外出向者について

<金> ご一読ください。

報-3 会費納入状況について

<豊崎> ご一読ください。

報-4 特別会員入金状況について

<豊崎> ご一読ください。

報-5 10月ビジター報告について

<小瀧> ご一読ください。

報-6 ビジター名簿について

<小瀧> まだまだ今年度頑張りますので、よろしくお願いします。

報-7 板林副委員長より、宮ハロの案内および出席のお願い。

16. 監事講評

<安野>

総務委員会、渉外委員会、毎度の設営ありがとうございます。本日はいよいよさよなら例会の議案があがってきました。この時期になると本年度の終着点を迎える準備が始まったという想いがいつもします。わざわざ卒業生に退出いただき議論をしたわけですが、卒業生をあっと驚かせるような設えにしていただけだと思います。本日は冒頭に理事長所信の読み合わせということで、いつもとは設えを変えた理事会でしたが、須山理事長の描いた夢、目標をもう一度読み合わせることで、理事会構成メンバーの意思を統一するためのよい手法だったのではないかと思います。残り2か月、須山理事長、そして宇都宮JCをこの理事会構成メンバーが一丸となって支えていただければと思います。本日は特に報告議案はあがりませんでしたが、次回から報告議案が上がってくると思います。報告をなんのためにするのかということを考えてほしいのですが、皆さんの心情としてよかったことを書きたがるのではないかと思います。しかしながら、失敗したことを次回に繰り返さないために引き継ぎというものをしていかなければならないと思います。去年した失敗をまた繰り返してしまった、それではうまくいっていない証拠です。しっかりと失敗を洗いざらいあげて、来年は繰り返さないように、報告議案をしっかりと精査して、次年度に引き継いでいただきたいと思います。最後に、総会の全国大会議案についての決議に関していろいろと議論がありました。私も関わった当事者として話を聞いていましたが、賛成側、反対側、いろいろ意見があると思います。私自身が深く関わっていますので、偏った見方しかできないかもしれないと思い、意見は控えさせていただきました。今年の理事長所信に、青年は大きな夢を掲げ、その実現のために全力で知恵と汗を出し尽くすべきだ、という言葉があります。全国大会を、自己成長の機会ととらえ、また全国大会を行なった先にあるものをしっかりと見据えなければ、全国大会をやる意味はありません。全国大会をただ開くだけでは意味がないので、その先にあるものをしっかりと考えるよい機会だと思いますので、総会までまだ1か月あります。大いに議論していただければと思います。本日はありがとうございました。

17. 閉会宣言

<金>

公益社団法人 宇都宮青年会議所
2015年度 第10回理事会議事録

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：澤 畑 敦 史
安 野 嘉 政